

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年6月24日(2024.6.24)

【公開番号】特開2024-36585(P2024-36585A)

【公開日】令和6年3月15日(2024.3.15)

【年通号数】公開公報(特許)2024-049

【出願番号】特願2024-16887(P2024-16887)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月14日(2024.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出を実行可能な演出実行手段と、

その演出実行手段により特定の演出が実行された場合に、遊技者に有利となる特典を付与することが可能な特典付与手段と、を有した遊技機において、

前記演出実行手段により実行される前記演出の一部として、音声を出力可能な音声出力手段と、

前記音声出力手段により出力される音量を遊技機外部からの操作に基づいて設定することが可能な音量設定手段と、

前記音量設定手段により設定された音量に基づいて前記音声出力手段より音声を出力させる第1状態と、前記音量設定手段により設定された音量に関わらず所定の音量で前記音声出力手段より音声を出力させる第2状態と、を切り替える出力制御手段と、

前記遊技機を作動させるための電力が供給されていない電断状態から、前記遊技機に電力の供給が開始された復帰状態となった場合に、前記第2状態を設定する初期設定手段と、を有し、

前記第2状態では、前記音量設定手段により設定される最も小さい音量よりも小さい音量である特定音量を設定可能にされており、

前記操作に基づいて設定することが可能な音量には上限が定められていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、演出を実行可能な演出実行手段と、その演出実行手段により特定の演出が実行された場合に、遊技者に有利となる特典を付与することが可能な特典付与手段と、前記演出実行手段により実行される前記演出の一部として、音声を出力可能な音声出力手段と、前記音声出力手段により出力される音量を遊技機外部からの操作に基づいて設定することが可能な音量設定手段と、前記音量設定手段により

50

設定された音量に基づいて前記音声出力手段より音声を出力させる第1状態と、前記音量設定手段により設定された音量に関わらず所定の音量で前記音声出力手段より音声を出力させる第2状態と、を切り替える出力制御手段と、前記遊技機を作動させるための電力が供給されていない電断状態から、前記遊技機に電力の供給が開始された復帰状態となつた場合に、前記第2状態を設定する初期設定手段と、を有し、前記第2状態では、前記音量設定手段により設定される最も小さい音量よりも小さい音量である特定音量を設定可能にされており、前記操作に基づいて設定することが可能な音量には上限が定められている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遊技機によれば、演出を実行可能な演出実行手段と、その演出実行手段により特定の演出が実行された場合に、遊技者に有利となる特典を付与することが可能な特典付与手段と、前記演出実行手段により実行される前記演出の一部として、音声を出力可能な音声出力手段と、前記音声出力手段により出力される音量を遊技機外部からの操作に基づいて設定することが可能な音量設定手段と、前記音量設定手段により設定された音量に基づいて前記音声出力手段より音声を出力させる第1状態と、前記音量設定手段により設定された音量に関わらず所定の音量で前記音声出力手段より音声を出力させる第2状態と、を切り替える出力制御手段と、前記遊技機を作動させるための電力が供給されていない電断状態から、前記遊技機に電力の供給が開始された復帰状態となつた場合に、前記第2状態を設定する初期設定手段と、を有し、前記第2状態では、前記音量設定手段により設定される最も小さい音量よりも小さい音量である特定音量を設定可能にされており、前記操作に基づいて設定することが可能な音量には上限が定められている。

20

30

40

50